

1. 目的

本マニュアルは、定期演奏会実行委員会が定期演奏会の円滑な実行を目的に募集する「協賛金」の具体的な運用を定めたものである。

2. 「協賛金」とは

「協賛金」とは、北海道シニア吹奏楽団（以下、単に「団」という。）の演奏活動にご理解いただいている法人又は個人が、団の重要イベントである定期演奏会の開催に賛同し、団に対して支援することを目的に拠出する金銭である資金をいう。

3. 協賛金の募集及び返礼等

(1) 募集の単位と返礼

- ① 協賛金の募集単位は「口」とし、一口を1,000円とする。
- ② 個人からの協賛金は一口以上とするが、企業・団体等、法人からの協賛金については、二口以上を目安とする。
- ③ 協賛金を拠出していただく方（法人を含み、以下、「協賛者」という。）に対する返礼は、口数に応じ、下表（標準）のとおりとするが、これによりがたい場合は、運営委員会の承認を得たうえで実行する。

口数	返礼の内容			備考
	礼状	協賛者の芳名をPGに掲載	招待券	
一口	(○)	○		一口への礼状は領収書で替える。
二口以上	○	○		PGへの掲載は自由意志。
五口以上	○	○	○	招待券は原則2枚まで。

(注) PG(プログラム)に掲載する協賛者の氏名等は、個人情報の取り扱いに留意し、必ず、確認を得ること。また掲載したPGは礼状等とともに、定期演奏会前に協賛者へ進呈すること。

(2) 募集対象と協賛金の受領

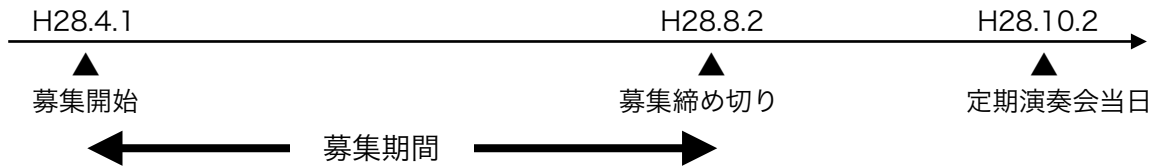
以下を対象として募集するが、具体的には、事務局と連携しながら対象を選定し、定期演奏会実行委員会が最終決定する。協賛金は、事務の煩雑化を考慮し、原則、現金による受領とし、必ず領収書を発行する。ただし、協賛者が遠隔地から送金する場合は、銀行振込又は現金書留による受領も可能とし、領収書も発行するが、銀行振込の場合は、協賛者の了解が得られれば省略できる。

募集対象	注意事項
団が関わっている外部の個人又は団体	広告の依頼があれば、それも可能とする。
団員が関わっている個人又は団体	広告の依頼があれば、それも可能とする。協賛依頼等の対応は当該団員が責任持って行う。
団の退団者 (OB・OG)	退団理由等を考慮しつつ、誤解を招かないよう事前対応に注意する。
団員本人	札幌市以外に居住しているなど、チケット販売が困難な環境にある団員に限る。

(3) 募集期間

- ① 募集期間は、原則、対象となる定期演奏会を開催する年度の4月1日から当該定期演奏会開催日の2ヶ月前に相当する日までとする。ただし、プログラムへの芳名掲載が間に合えば良いので、定期演奏会実行委員会において具体的な期間を決定して差し支えない。

<例> H28年10月2日に定期演奏会を開催する場合



- ② 万が一、募集期間外に支援の申し出等があった場合は、協賛の対象となる定期演奏会の時期を説明・確認のうえ受領し、返礼もれが生じないよう、厳重に管理する。

4. 名簿管理

協賛者の名簿については、定期演奏会終了後までの間、個人情報保護にも配慮しながら、定期演奏会実行委員会が厳重に管理・運用することとし、定期演奏会終了後は、次期定期演奏会実行委員会へ確実に引き継がねばならない。

また、事務局とも名簿を共有し、例えば、節目の記念定期演奏会などの招待客選定に活用するなど、団の財産として、適正に管理していかなければならない。

5. 様式

(1) 依頼文書等

依頼対象となる個人又は法人への依頼文書並びに協賛者の意向確認は、別添様式1.並びに2.とする。なお、協賛者の意向確認書類は、名簿などの根拠資料となるので、紛失などのないよう、慎重に扱う。また、協賛に対するお礼も兼ねた領収書は、別添様式3.のとおりとするが、様式1.~3.の様式は、依頼相手に応じて、適宜、変更して差し支えない。

(2) 名簿

名簿の様式は別添様式4.のとおりとする。なお、引き継ぎなどの継続性を考慮し、みだりに様式の項目を変更することがないよう、注意する。

6. 事務

協賛金の募集・受領・名簿管理・プログラム掲載・返礼などの一連の事務は、協賛金の対象となる定期演奏会の実行委員会が行う。

ただし、協賛者の多くが団員以外であることから、団長をはじめ、事務局等との連携を密にし、トラブルを引き起こして信用を失墜するようなことのないよう、細心の注意を払うこと。

以上

様式1（協賛依頼文ひな形）

各位

北海道シニア吹奏楽団
第〇回定期演奏会実行委員会
委員長 ○ ○ ○ ○

第〇回定期演奏会開催への協賛金のお願い（依頼）

拝啓 ○〇の候、皆様におかれましてはますます（ご清栄/ご健勝）のこととお慶び申し上げます。
平素より、北海道シニア吹奏楽団の活動につきまして多大なるご理解をいただき、暑く御礼申し上げます。

さて、北海道シニア吹奏楽団は、来る平成〇年〇月〇日、第〇回定期演奏会を開催することになりました。
当団の定期演奏会は、日頃の練習成果をご披露申し上げるとともに、ご来場のお客様にも大いにお楽しみ
いただくための工夫を凝らしながら開催しており、毎年会場にいらっしゃる常連のお客様も数多くなって
きております。

当団の発足時からの「音楽を通じて地域に貢献する」という思いが結実しつつあると感じますが、これも
ひとえに皆様方のご理解・ご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

つきましては、諸事多難な折、まことに恐縮ではございますが、上記定期演奏会の趣旨をご理解いただき、
ご協賛を賜りたく、ここにお願い申し上げます。

なお、協賛の内容につきましては、下記のとおりとさせていただきますので、なにとぞよろしくお願い申
し上げます。

敬具

記

協賛金額 一口 1,000円 （法人の場合は二口からとします。）
募集期間 平成〇年〇月〇日（〇）まで
納入方法 現金又は銀行振込等（銀行振込の場合は、下記へ振込願います。）
○○銀行 ○○支店 普通 1234567
問い合わせ先 北海道シニア吹奏楽団 第〇回定期演奏会実行委員会
電話 ○〇-〇〇-〇〇〇〇 Mail abcd@efg.com
その他 銀行振込の場合は、領収書を省略させていただくことがあります。
協賛いただいた場合は、定期演奏会プログラムにご芳名を掲載させていただきますが、支
障がございます場合は、上記にご連絡いただきたく、よろしく願いいたします。

以上

様式2（協賛の意向確認）

北海道シニア吹奏楽団あて

私（我が社/当団体）は、北海道シニア吹奏楽団が開催する「第〇回定期演奏会」の開催主旨に賛同し、以下のとおり、協賛金をお支払いいたします。

金 _____ 円（ただし 口分）

<※いずれか〇印を付してください。>

協賛金の支払い方法（現金、銀行振込、現金書留）
プログラムへの芳名掲載希望（有、無）

住所（所在地） 〇〇市 〇〇区 〇〇〇〇〇〇

氏名（法人名） 〇〇〇 〇〇〇

電話 〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

領 収 書

この度は、北海道シニア吹奏楽団の第〇回定期演奏会にご協賛いただき、まことにありがとうございました。

今後とも、ご支援かた、よろしくお願いいたします。

下記、金額を協賛金として受領いたしました。

金. _____ 円
(ただし、 口分)

平成〇年〇月〇日

〒123-456 札幌市〇区〇〇〇〇〇〇
北海道シニア吹奏楽団
第〇回定期演奏会実行委員会
委員長 ○ ○ ○ ○ 印

